

自動配送ロボットによる新たな配送サービス

- 自動配送ロボットとは、自動で走行して、物流拠点や小売店舗などの様々な荷物や商品を配送するロボット。
- E C市場の拡大などにより宅配需要が急増する中、物流分野における人手不足や買い物弱者対策などの課題解決のため、早期の社会実装が期待されている。

サービスのイメージ



- ✓ 物流拠点や飲食店、小売店舗などから、荷物や商品を、**指定した時間・場所に配送**
- ✓ 配送機能以外の**新たな機能の付加**（例：配送×警備、配送×清掃）
- ✓ 商品を積み込んだ状態で**自動走行する移動販売型サービス**

公道実証の事例



制度整備

2019
年度

官民協議会を立ち上げ、国内での活用に向けた検討を開始

2020
年度

実証実験の制度整備により国内で公道実証が可能に

2021
年度

低速・小型の自動配送ロボットの公道走行に関する規定の整備を含む「**道路交通法の一部を改正する法律**」が成立
(2022.4.27公布)

2022
年度

2023
年度

2023年4月までに施行

改正道路交通法施行後の公道走行（遠隔操作型小型車）

- 最高速度 **6km/h**
- 車体の大きさ 長さ120cm × 幅70cm × 高さ120cm
(現行の電動車椅子相当)
- 通行方法 **・歩行者と同じ通行場所**
(歩道・路側帯・道路の右側端)
・歩行者相当の交通ルールに従う
・歩行者に進路を譲らなければならない
- 届出制 通行させようとする場所を管轄する
都道府県公安委員会に**事前届出義務化**

新たに生まれるビジネスの例

保険

- 自動配送ロボット向け保険

機体開発 (モノづくり)

- 機体 / 部品開発・製造

配送サービス

- 物流拠点・小売店などから自宅への配送
- 宅配ロッカーへの配送
- 移動販売
- 配送 + α (警備・清掃など)

インフラ構築・運営

- 充電・メンテナンス場の整備・運営
- 自動配送ロボットを活用した街づくり

通信・遠隔監視

- 通信インフラの整備・運営
- 遠隔監視システムの構築・運営

